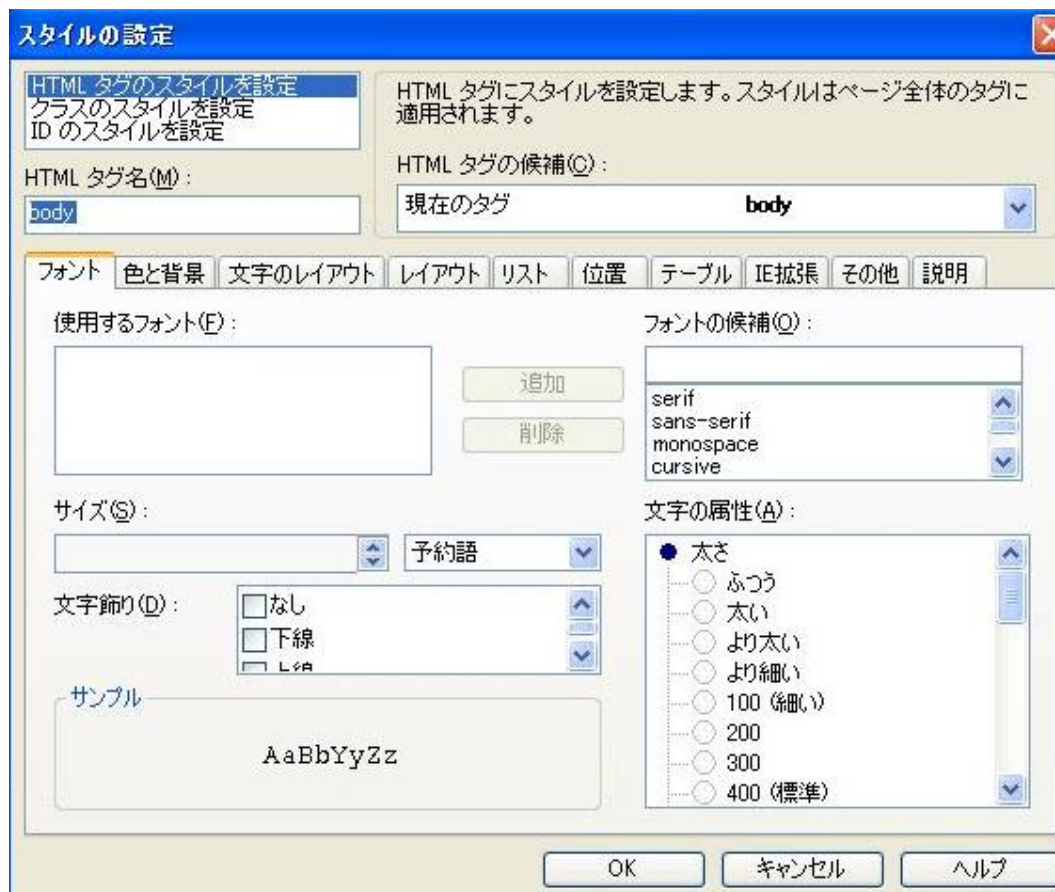


HTML タグにスタイル適用(フォント)

前回は、[外部スタイルシート]を使って多くのページのスタイルを変更する方法を説明しましたが、今日は、[フォント]に関わるスタイルの変更の説明です。



[フォント]タブの画面で設定出来るのは、 [フォントの種類] [フォントのサイズ]
[文字飾り] [文字の大きさ]等です。

[フォントの種類]

右サイドの[フォントの候補]から選択して、中央の[追加]ボタンを押すと左サイドの[使用するフォント]のウィンドウに表示されます。複数のフォントを選択すると、[使用するフォント]欄の上位に位置するものから優先して適用されます。

[総称ファミリー]

[フォントの候補]にある[serif][sans-serif][monospace][cursive][fantasy]を総称ファミリーと呼んでいます。

[serif は明朝系]で[sans-serif は、ゴシック系]です。この二つの区別だけ覚えておけば良いと思います。

[フォントのサイズ]

[サイズ]欄の[予約語]を使うと、サイズ欄には[大きい][やや大きい][小さい]等の表示が出ます。ピクセルを使う場合は、予約後の右の ボタンをおしてピクセルに変えて数字を記入してください。(通常のサイズは 16 です)。文字の高さを設定する場合も予約語をスクロールすると[文字の高さ]が表示されます。

[文字飾り]

[文字飾り]欄の[下線][上線][取消線][点滅]にチェックを付けて設定します。但し[点滅]はサンプル表示はありません。

[文字の大きさ]

[文字の属性]欄では、文字の大きさ、斜体などの設定が出来ます。又、英字を使う場合はこの中に[変換]機能がありますので、最初の文字を大文字として他は小文字にすること等も可能です。

[文字のレイアウト]画面で設定出来るのは、 [行間の調整] [文字間の調整] [ワード間の調整] [インデント] [文字の配列]等です。



[行間の調整]

[行間の調整]には、[予約語]を[パーセント]に変更して設定します。通常は 100 パーセントですから、120 パーセントにするとやや行間が広がります。数字で調整してください。

[文字間の調整]

[ワード間の調整]

[予約語]を[ピクセル]に変えて数字を調整します。

<例示>

あいうえお あ い う え お

Home page builder Home page builder

[インデント]

[インデント]の項目を選択すると、段落の最初を字下げすることができます。

[文字の配列]

[水平方向の配置]の中から選択して設定します。[左揃え][中央揃え][右揃え]等。